



REACHに向けた
ECセンターの取組み
AIS作成支援ツール

環境情報専門委員会



目次

AIS作成支援ツール

- 1.REACHとは
- 2.AIS作成支援ツールの概要
- 3.AIS作成支援ツールの構成
- 4.AIS作成支援ツールの画面
- 5.AIS作成支援ツールに求められる事項
- 6.事例
- 7.デモンストレーション
- 8.AIS作成支援ツールの機能一覧
- 9.AIS作成支援ツールのダウンロード

1. REACHとは(1)

REACHって何？

REACH(化学品の登録、評価、認可及び制限に関する規則)とは2007年6月1日に施行されたEU(欧州連合)における新しい化学品規制です。

REACH法では、EU域内で1トン/年以上の化学品を販売するには。一部例外を除き、情報登録が求められています。製品についても、化学品と同様に登録が必要な場合があります。また、強い有害性が懸念される物質が含まれている場合は届出が必要です。

1. REACHとは(2)

我が社に関係するの?

- ① EU域内に化学物質の製造工場がある。
- ② EU域内へ化学物質そのものを直接、あるいは商社を経由して輸出している。
- ③ EU域内へ混合物(塗料、洗剤、接着剤、ゴム、プラスチック等)を輸出している。
- ④ EU域内へ製品(電気部品、衣服、文房具等)を輸出している。
- ⑤ 国内の納入先A及びアジア地区の国外の納入先Bが我が社の化学物質を使って製品を作り、EU域内へ輸出している。



⑥ 納入先CはEU域内へ輸出していないが、その先のX社が輸出しているかもしれない。

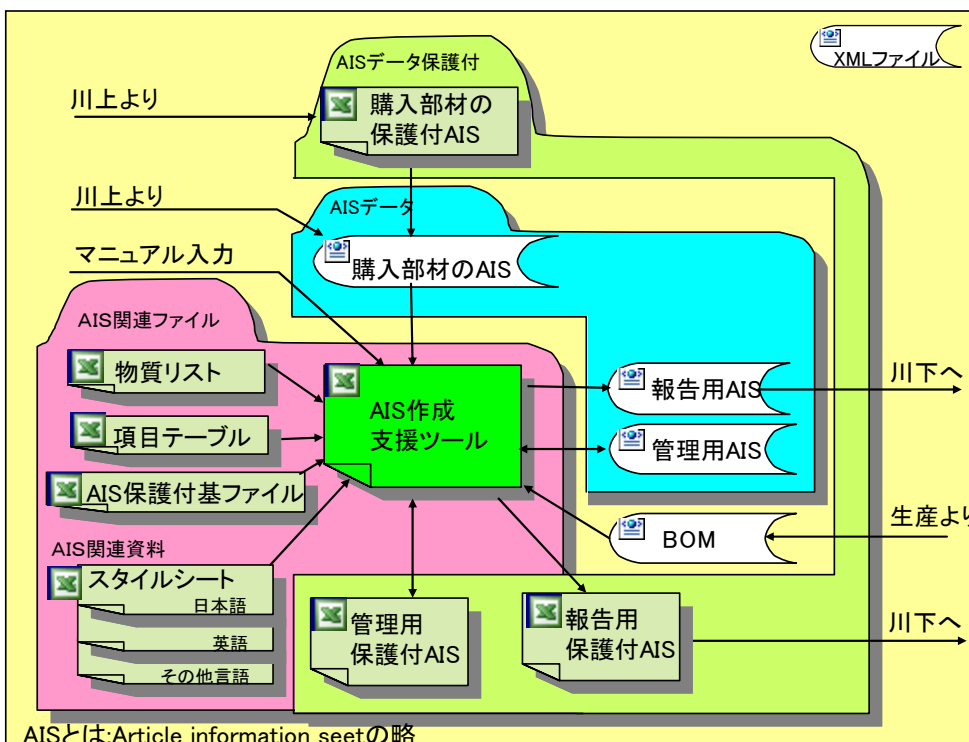
⑦ 商社または加工メーカーが我が社の化学物質を取り扱っている。

- ①②③→REACH登録の当事者です。
- ④→登録の当事者になる可能性があります、まずは購入先への確認が必要です。
- ⑤⑥⑦→客先から問い合わせ対応、客先へMSDS(化学物質等安全データシート)の提供等が必要です。

REACH支援室/社団法人産業環境管理協会の広報誌より引用

2. AIS作成支援ツールの概要

ここで説明するAIS作成支援ツールは欧州REACH規制を考慮した、製品に含まれる化学物質情報を川上から川中、川下へ正確で迅速に伝達することを目的に作成したツールである。



※)項目は JAMP/AIS委員会で決めた仕様(案)に従って作成しています。

※)報告用AISのXMLファイルは JEITA/ECセンターで定めた仕様に従って作成しています。

AISとは:Article information sheetの略

3. AIS作成支援ツールの構成

A I S 作成支援ツール Ver1.00 (JEITA)

1. AISに関する情報
 [折畳み] AIS書式、発行日、改定日、改定履歴番号等

2. 会社情報
 [折畳み] 送付案内情報 (任意)
 作成者会社コード、名称、住所、担当、電話番号等
 依頼者会社コード、名称、住所、担当、電話番号等

3. 成形品情報
 [折畳み] 作成者品番、名称、製造会社、シリーズ名等

シリーズ品情報
 [折畳み] シリーズ品番(製造会社品番) 報告単位質量 シリーズ品番(販売会社品番) 作成者品番、質量、依頼者品番

製品分割情報
 [折畳み] 製品分割品番(企業コード_改定_変更履歴) 分割部使用数 分割品番、員数

4. 組成成分情報
 [折畳み] 報告単位 組成成分 質量 製品単位、製品質量
 報告物質 GADSLを対象としない JIGを対象としない JIGを対象としない 等
 階層名、部品名、材質名、材質質量、物質質量、関連法律名等

組成成分情報に関する宣言
 本製品は、上記のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております。等

5. その他の情報
 [折畳み] 引用文献、制約事項、注意事項

6. 伝達すべき情報
 [折畳み] 高懸念物質のみ抜き出した一覧表
 ※この情報は組成成分から作成し表示するのみで川下へは伝達されない。

7. 成形品あたりの特定化学物質濃度情報
 [折畳み] 伝達物質をCAS番号で集計した一覧表
 ※この情報は組成成分から作成し表示するのみで川下へは伝達されない。

8. 成形品中の材質情報
 [折畳み] 材質分類コードで集計した一覧表

目次

AIS作成支援ツール

1. REACHとは

2. AIS作成支援ツールの概要

3. AIS作成支援ツールの構成

4. AIS作成支援ツールの画面

5. AIS作成支援ツールに求められる事項

6. 事例

7. デモンストレーション

8. AIS作成支援ツールの機能一覧

9. AIS作成支援ツールのダウンロード

4. AIS作成支援ツールの画面（1）

AISに関する情報と会社情報及び成形品情報

開く 閉る

1. AISに関する情報

使用書式	
初版発行年月日	
最新改訂年月日	
改訂履歴	
GPシートID	

開く 閉る

2. 会社情報

初期値設定

発行者に関する情報	
会社名	
JAMP会社ID ある場合（記入必須）	
会社ID	機関ID
	企業ID
住所	
担当部門名	
担当部門電話番号	
担当部門Fax番号	
担当部門メールアドレス	
作成部門名	
作成部門電話番号	
シート整理番号	
発行者備考	

開く 閉る

3. 成形品情報

製造会社名	
一般商品名	
発行者型番	
複数品名・シリーズ品名	
発行者備考	

8 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

4. AIS作成支援ツールの画面（2）

組成成分情報

報告単位		成形品質量		質量		質量単位	材質合計	
個・m・m2・m3選択		個	質量			kg, g, mg選択	g	
階層	部品	材質						
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
原部品は記述不要		記述		ブルダウンドで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
#								単位

上段より続き

報告物質

GADSLを対象としない JIGを対象としない

行の増減機能と折畳み機能あり

報告物質

報告物質該当法令

備考

物質名	CASNo.	含有率(wt%)	物質質量	報告物質該当法令										備考			
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定 単位はダブルクリックで選択	任意報告物質	備考	67/548/E EC	備考	76/769/E EC	備考	ELV	適用除外	RoHS	適用除外	GADSL	備考	JIG	備考

「部品」は部品行の追加
「材質」は材質行の追加
「物質」は物質行の追加

開く 閉る

コピー	部品	材質	物質	移動	削除
-----	----	----	----	----	----

行増減と折畳み機能(各セルをダブルクリックで機能する)

9 All Rights Reserved, Copyright © 2008 JEITA

ECALGA

4. AIS作成支援ツールの画面（3）

組成成分情報に関する宣言とその他情報及び送付案内情報

組成成分情報に関する宣言 (選択)

- 本製品は、報告物質該当法令等に該当する物質の含有は確認されておりません。
- 本製品は、上記のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております。

5. その他の情報 (記述)

引用文献、制約事項、注意事項	
----------------	--

送付案内情報 (任意)

畳み機能あり

販売先(または提出先)に関する情報

会社名	
JAMP会員No.	
会社ID 1	機関ID
	企業ID
住所	
担当部門名	
担当部門電話番号	
担当部門Fax番号	
担当部門メールアドレス	
作成部門名	
作成部門電話番号	
シート整理番号	
提出年月日	
依頼者備考1	
依頼者備考2	
依頼者備考3	

販売先品番

複数品名・シリーズ品名	
-------------	--

4. AIS作成支援ツールの画面（4）

計算で求められる項目(伝達すべき情報と成形品あたりの特定物質濃度情報及び成形品中の材質情報)

6. 伝達すべき情報 (集計ボタンより)

集計	階層	部品	構成	材質	材質分類No	公的規格	材質質量

上段より続き

報告物質			報告物質該当法令								備考
物質名	CASNo.	wt%	物質質量	任意報告物質	備考	67/5:備考 48/E EC	76/7:備考 69/E EC	ELV:適用 除外	RoHS:適用 除外	GADS:備考 L	JIG:備考

7. 成形品あたりの特定化学物質濃度情報 (集計ボタンより)

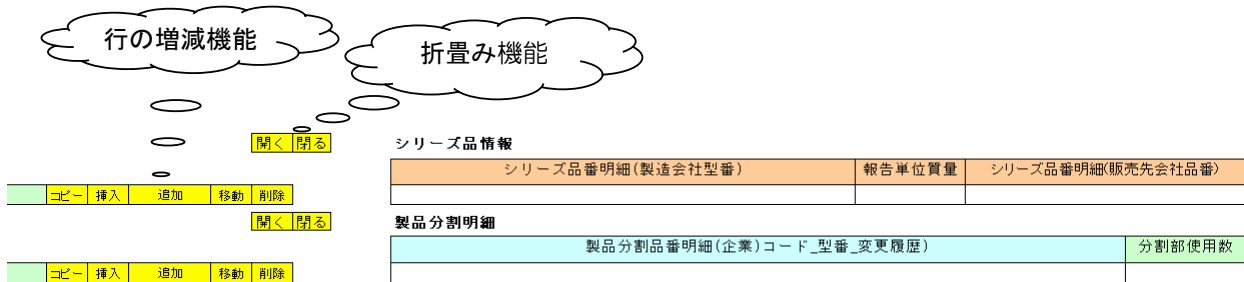
物質名	CASno.	ア－ティクル中濃度	wt%

8. 成形品中の材質情報 (集合化報告時自動設定)

材質	材質分類記号	材質質量

4. AIS作成支援ツールの画面（5）

シリーズ品情報と製品分割情報



行増減と折畳み機能(各セルをダブルクリックで機能する)

— 目 次 —

AIS作成支援ツール

1. REACHとは
2. AIS作成支援ツールの概要
3. AIS作成支援ツールの構成
4. AIS作成支援ツールの画面
5. AIS作成支援ツールに求められる事項
6. 事例
7. デモンストレーション
8. AIS作成支援ツールの機能一覧
9. AIS作成支援ツールのダウンロード

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（1-1）

最初に作成するAIS(原部品¹⁾とする)は誰でも簡単に作成できる事(1)

報告単位		成形品		質量		質量単位		材質合計	
個・m・m2・m3選択		① 個		質量		③		②	
階層	部品	材 質		材 質		材 質		材 質	
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量	
原部品は記述不要		記述		プルダウンで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択	⑩
#		⑥		⑦	⑧	⑨	②⑩	⑪	⑩

報告物質		報告物質該当法令												備考				
GADSLを対象としない		JIGを対象としない		物質名	CASNo.	wt%	物質質量	単位	任意報告物質	備考	67/5:備考	76/7:備考	ELV	RoHS	GADSL	JIG	備考	
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定単位はダブルクリックで(e.g.,mg)か															⑬
⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲	⑲

部品行の記述

- ①製品の報告単位をリストから選択する。
- ②製品の質量を表す単位をダブルクリックで選択する。
- ③製品の質量を単位に合わせて記述する。
- ④GADSLに関する報告の有無を選択する。
- ⑤JIGに関する報告の有無を選択する。
- ⑥原部品を構成する部品の型名と使用数を記述する。
- ⑦材質使用用途をリストから選択する。
- ⑧材質名をリストから選択する。
- ⑨材質分類Noは材質名を選択すると自動設定される。
- ⑩単位は材質名の質量をダブルクリックで選択する。
- ⑪単位に合わせた質量を記述する。
- ⑫物質はリストより選択する。
- ⑬CASは物質を選択すると自動設定される。
- ⑭WT%材質質量に対する物質質量の割合を記述する。
- ⑮WT%記述後カーソルインで自動設定される。
- ⑯同上で自動設定される。最初は材質質量単位となる、調整が必要である。(調整はダブルクリックで行う事が出来る)
- ⑰任意報告物質はY/Nをリストより選択する。ただし⑰a備考は入力する。
- ⑱物質を選択で自動設定される。ただし⑱a備考は入力する。
- ⑲備考は物質に関するコメントを記述する。
- ⑳公的規格JIS記号等記述する。

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（1-2）

最初に作成するAIS(原部品¹⁾とする)は誰でも簡単に作成できる事(2)

階層	部品	材 質		材 質		材 質		材 質	
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量	
原部品は記述不要		記述		プルダウンで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択	⑩
#		端子 a	1	母材	鍛造マグネシウム	AR222		1	mg

部品aに材質用途以下の情報を追加する場合

部品aに複数の材質を含む場合は行を追加して記述する。

- ①追加する部品ag行の「材質」セルをダブルクリックでその下段に一行追加する。
- ②材質用途以下の情報は部品行記述の⑦から⑱までと同じ

階層	部品	製 品		階 層		部 品		材 質		材 質		材 質		材 質	
名称	員数	名称	員数	名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量			
原部品は記述不要		記述		プルダウンで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択	⑩						
#		端子 a	1	母材	鍛造マグネシウム	AR222		1	mg						

物質名	CASNo.	wt%	物質質量	単位	任意報告物質	備考	67/5:備考	76/7:備考	ELV	RoHS	GADSL	JIG	備考
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定単位はダブルクリックで(e.g.,mg)か										
Cadmium nitrate	10022-68-1	0.003 %	0.03	mg					Y	Y	Y		

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項(1-3)

最初に作成するAIS(原部品¹⁾とする)は誰でも簡単に作成できる事(3)

階層		部品		材質				
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
原部品は記述不要		記述		ブルダウんで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
#		端子	1	母材	鍛造マグネシウム (表面処理系) a	AR222 非合金、低合金 AR102		1 mg 3 mg

材質bに物質情報を追加する場合

材質bに複数の物質を含む場合は行を追加して記述する。

- 追加する材質b行の「物質」セルをダブルクリックでその下段に一行追加する。
- 物質情報は部品行記述の⑫から⑲までと同じ

「部品」は部品行の追加
「材質」は材質行の追加
「物質」は物質行の追加

階層		部品		材質				
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
原部品は記述不要		記述		ブルダウんで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
#		端子	1	母材	鍛造マグネシウム (表面処理系) a	AR222 非合金、低合金 AR102		1 mg 3 mg

報告物質				報告物質該当法令										備考
物質名	CASNo.	含有率(wt%)	物質質量	任意報告物質	備考	67/5 48/E EC	76/7 69/E EC	ELV 適用除外	RoHS 適用除外	GAD SL	備考	JIG	備考	
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定 単位はダブルクリックで選択											
Cobalt fluorid	10026-18-3	1.0 %	0.00001 g							Y				
Cadmium nitrat	10022-68-1							Y	Y	Y				

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項(1-4)

最初に作成するAIS(原部品¹⁾とする)は誰でも簡単に作成できる事(4)

階層		部品		材質				
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
原部品は記述不要		記述		ブルダウんで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
#		端子	1	母材	鍛造マグネシウム (表面処理系) a	AR222 非合金、低合金 AR102		1 mg 3 mg

部品を追加する場合

製品に複数の部品を使用している場合は行を追加して記述する。

- 追加する部品cの行の「部品」セルをダブルクリックでその上段に一行追加される。
- 部品情報は最初に記入した部品行に記述した⑥から⑲までと同じ

「部品」は部品行の追加
「材質」は材質行の追加
「物質」は物質行の追加

階層		部品		材質				
名称	員数	名称	員数	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
原部品は記述不要		記述		ブルダウんで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	がある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
#		端子	1	母材	鍛造マグネシウム (表面処理系) a	AR222 非合金、低合金 AR102		1 mg 3 mg

報告物質				報告物質該当法令										備考
物質名	CASNo.	含有率(wt%)	物質質量	任意報告物質	備考	67/5 48/E EC	76/7 69/E EC	ELV 適用除外	RoHS 適用除外	GAD SL	備考	JIG	備考	
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定 単位はダブルクリックで選択											
Cobalt fluorid	10026-18-3	1.0 %	0.00001 g							Y				
Cadmium nitrat	10022-68-1							Y	Y	Y				
Tin (II) bromid	10031-24-0													

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（1-5）

最初に作成するAIS(原部品¹⁾とする)は誰でも簡単に作成できる事(5)

ここまでで原部品の記述完了です。

「部品」は部品行の追加
「材質」は材質行の追加
「物質」は物質行の追加

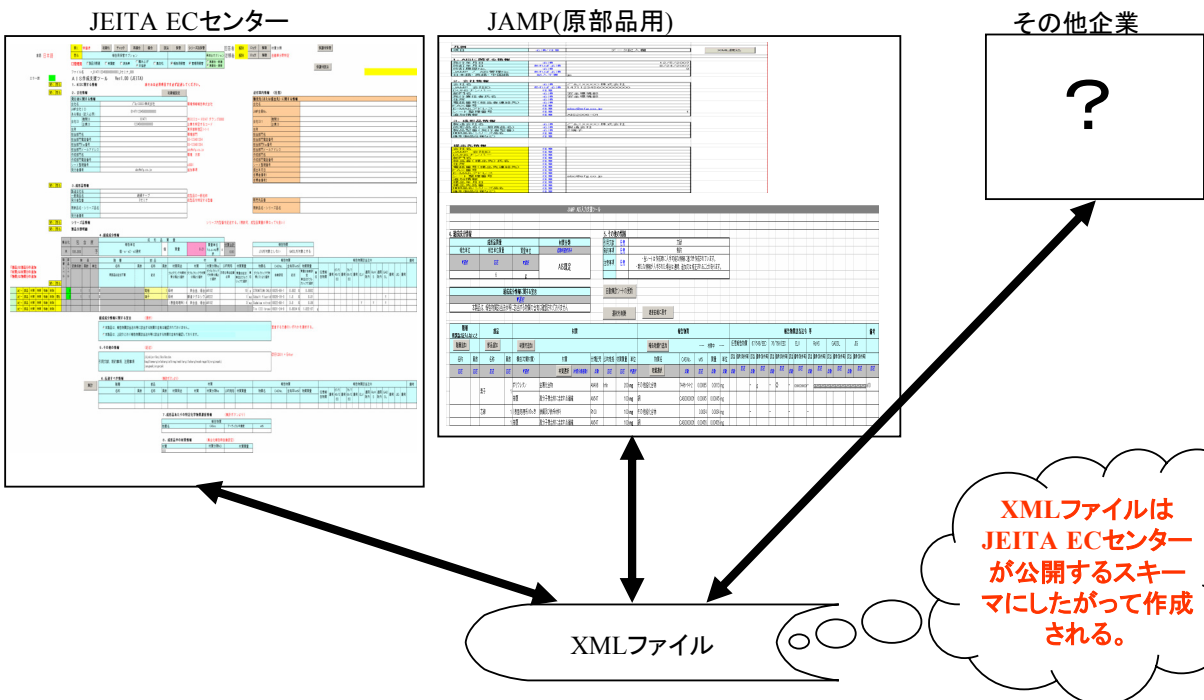
階層レベル	部品レベル	製品			階層		部品		材質			
		変換係数	員数	単位	名称	員数	名称	材質用途	材質	材質分類No	公的規格	材質質量
					原部品は記述不要		記述	プルダウンで均質材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ダブルクリックで材質分類より選択	ある場合記載必須	質量は記述単位はブルックで選択
開く	閉る						電極	母材	非合金、低合金	AR102		10 g
開く	閉る						端子	母材	鍛造マグネシウム(表面処理系)	AR222		1 g
開く	閉る								非合金、低合金	AR102		3 g

報告物質				報告物質該当法令										備考	
物質名	CASNo.	含有率(wt%)	物質質量	任意報告物質	備考	67/548/E/EC	76/769/E/EC	ELV	適用除外	RoHS	適用除外	GAD/SL	備考		JIG
ダブルクリックで物質リストより選択	自動設定	記述	質量は自動設定 単位はダブルクリックで選択												
STRONTIUM CHLO	10025-69-1	0.002 %	0.0002 g												
Cobalt fluorid	10026-18-3	1.0 %	0.01 g									Y			
Cadmium nitrat	10022-68-1	3.0 %	0.09 g					Y		Y		Y			
Tin (II) bromi	10031-24-0	0.0034 %	1.02E-07 g												

¹⁾原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（2）

AIS作成支援ツールは一定基準に従えば誰でも作成出来るため、様々な機能が付く可能性があるが、交換するデータはXMLスキーマで決められた構成とする。



¹⁾原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（3）

用語の解説

「複合」とは

川上から入手したAISを自社製品の構成に合わせて合成することである。

「集合化」とは

伝達すべき物質のみ抜き出す処理である。伝達すべき物質とは環境に与える影響が高懸念であると指定された物質である。(法制化される)

「中抜き」とは

多段に渡る複合処理をした場合、階層名の表現が出来なくなる。この解決として最後に発生した階層名と最初の発生した階層名を/(スラッシュ)で区切って表現する事と、階層の員数を累積することである。

「積重ね」とは

多段に渡る複合処理をした場合、階層名の表現が出来なくなる。この解決として階層名と員数を単独で残し、複合部品はその下に配置し親子関係はレベルで表現することである。主に自動車関係企業へ報告する場合に使用する。

「材質合計」とは

中抜きで集合化したとき伝達しない物質は材質質量の合計で伝達する事になる。材質合計は報告すべきか、しないかに拘わらず材質分類Noですべて合計したものである。

「管理AIS」とは

社内管理項目を含んだものである。

「報告AIS」とは

環境辞書に定められた項目のみ含んだものである。

5. AIS作成支援ツールに求められる事項（4）

管理AISと報告AIS

報告AISは購入先、品番等開示でない情報がある、または員数、階層名等加工が必要なため管理用と報告用に分けた。

- ・管理AISは購入部品ごとの購入先、品番、員数、材質合計等を管理する。
- ・報告AISは購入先、品番は削除、員数は階層員数に累積、階層は中抜き、材質合計は自社で追加した材質と購入部品の材質を合計して別表で作成する。

管理AIS

階層レベル	部品レベル	製品			階層名称	員数	部品名称	員数	材質用途	材質	材質		
		変換係数	員数	単位							材質分類No	公的規格	材質質量
					原部品は記述不要		記述						
			1	1			電極	1	母材	非合金、低合	AR102		10.0
			1	1			端子	1	母材	鍛造マグネシウ	AR222		1.0
									(表面処理系)	非合金、低合	AR102		3.0
			1	1	製造会社_0147112345600000004_XYZ-1111-2222_009_g								
1							予)巻き芯	1	母材	紙	AN711		0.2
1							接着材	1	付着剤	塗膜樹脂	SS303		10.1
1							巻き芯	1	母材	紙	AN711		0.2
2							テープ本体	1	母材	繊維	AN712		0.005
							集合化情報			紙	AN711		400
										塗膜樹脂	SS303		10.1
										繊維	AN712		1.0

自社追加

購入部品

報告AIS

階層レベル	部品レベル	製品			階層名称	員数	部品名称	員数	材質用途	材質	材質		
		変換係数	員数	単位							材質分類No	公的規格	材質質量
					原部品は記述不要		記述						
			1	1			電極	1	母材	非合金、低合	AR102		10.0
			1	1			端子	1	母材	鍛造マグネシウ	AR222		1.0
									(表面処理系)	非合金、低合	AR102		3.0
1	2						予)巻き芯	1	母材				
1	2						接着材	1	付着剤				
1	2						巻き芯	1	母材				
2	3						テープ本体	1	母材				

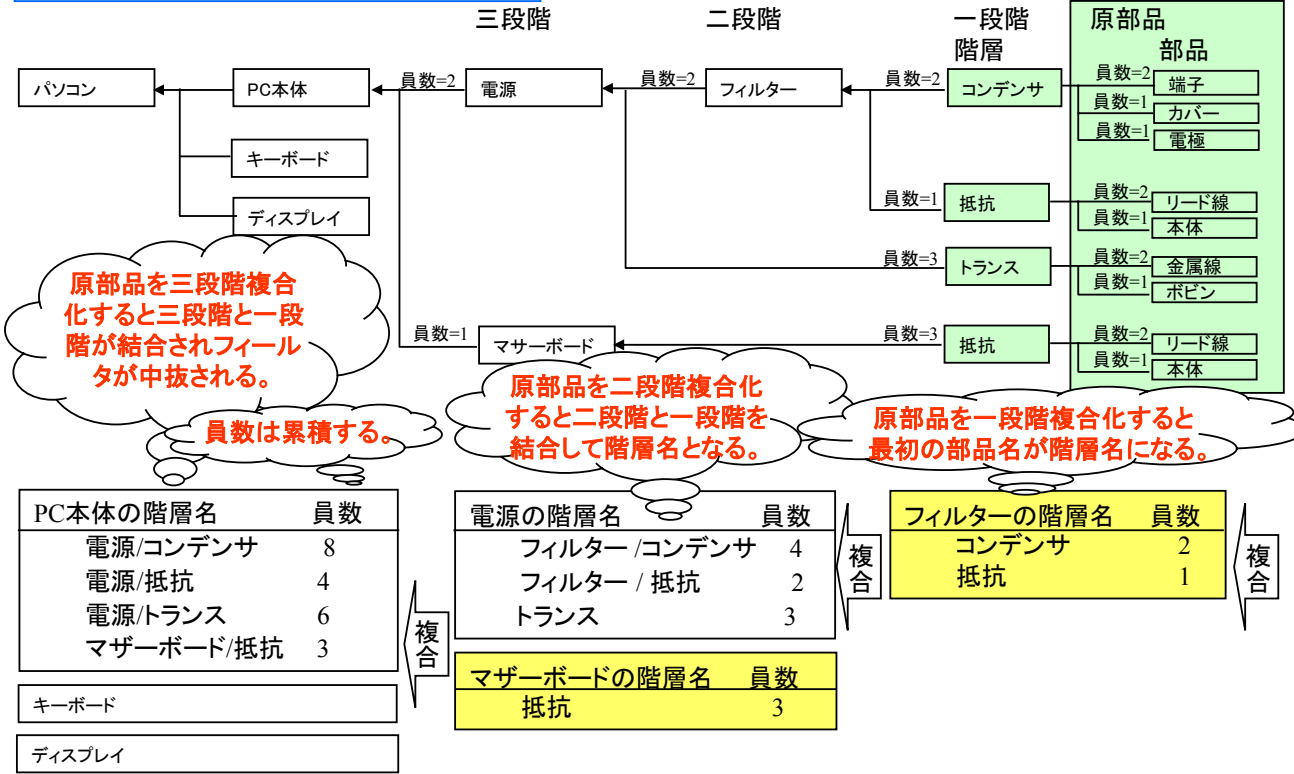
削除

変更

追加

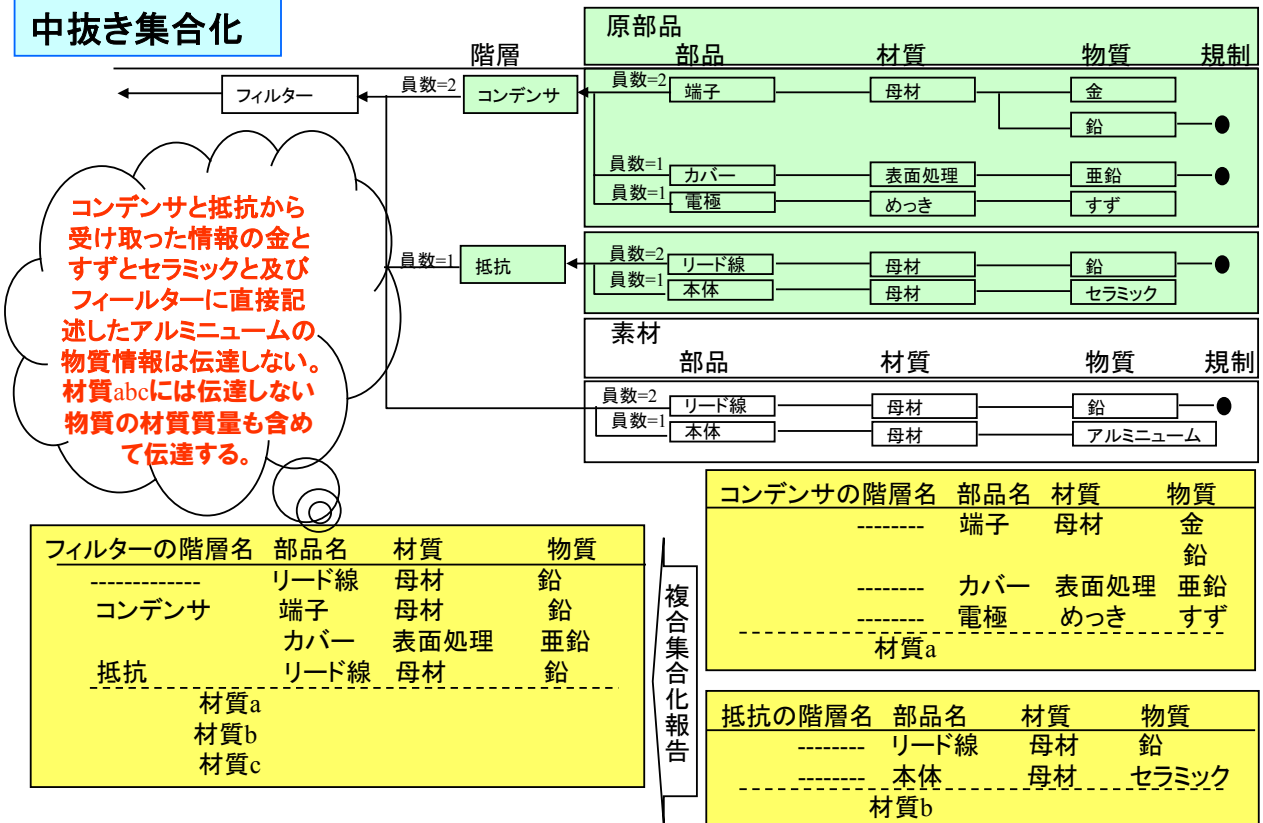
5. AIS作成支援ツールに求められる事項（5）

中抜き階層名と員数の表現



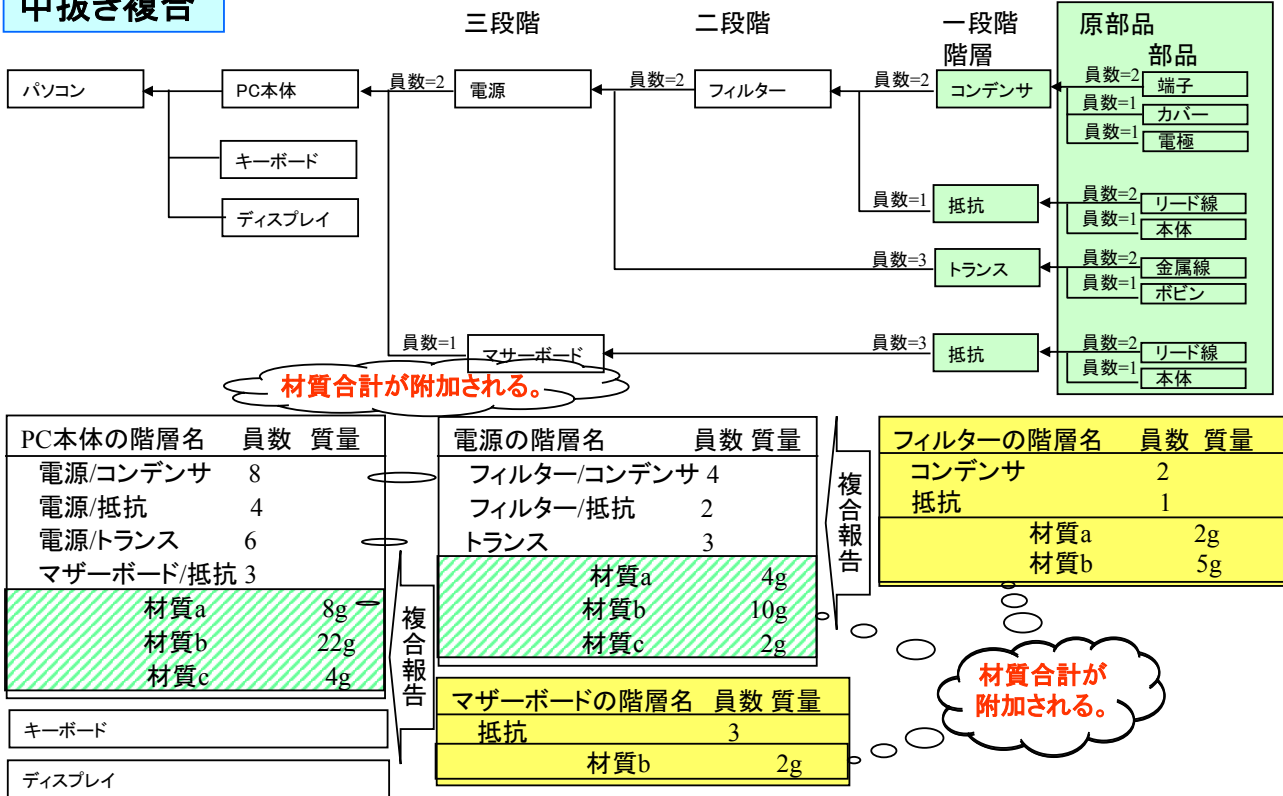
5. AIS作成支援ツールに求められる事項（6）

中抜き集合化



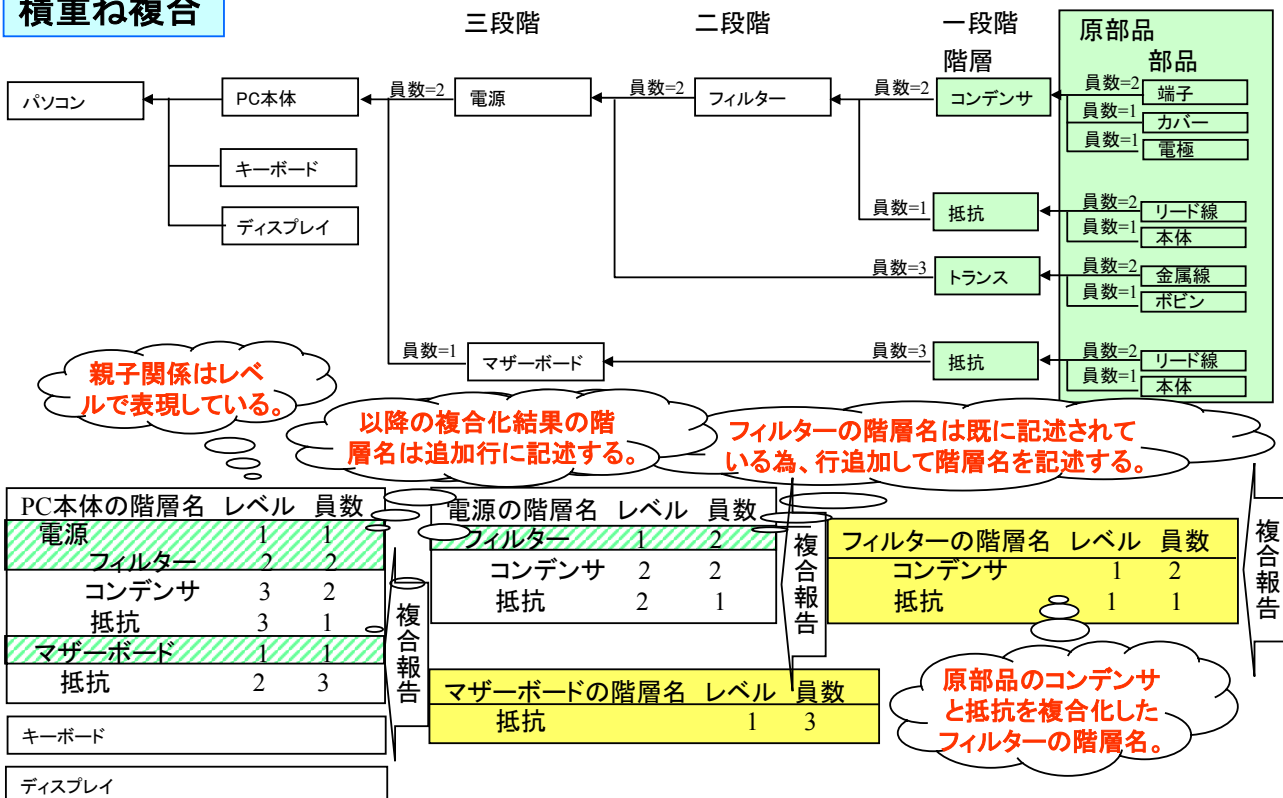
5. AIS作成支援ツールに求められる事項（7）

中抜き複合



5. AIS作成支援ツールに求められる事項（8）

積重ね複合



目次

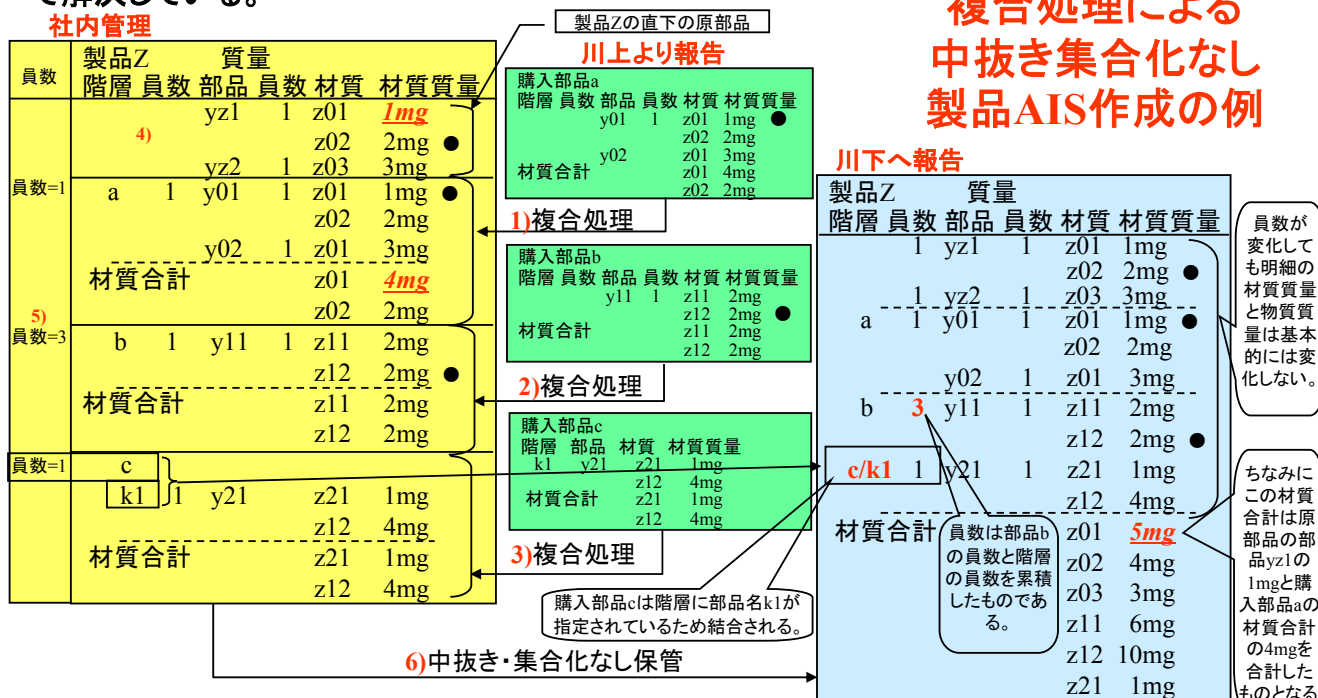
AIS作成支援ツール

1. REACHとは
2. AIS作成支援ツールの概要
3. AIS作成支援ツールの構成
4. AIS作成支援ツールの画面
5. AIS作成支援ツールに求められる事項
6. 事例
7. デモンストレーション
8. AIS作成支援ツールの機能一覧
9. AIS作成支援ツールのダウンロード

6. 事例(1)

購入先から入手したAISを川下へ正確および迅速に伝達しなければならない。

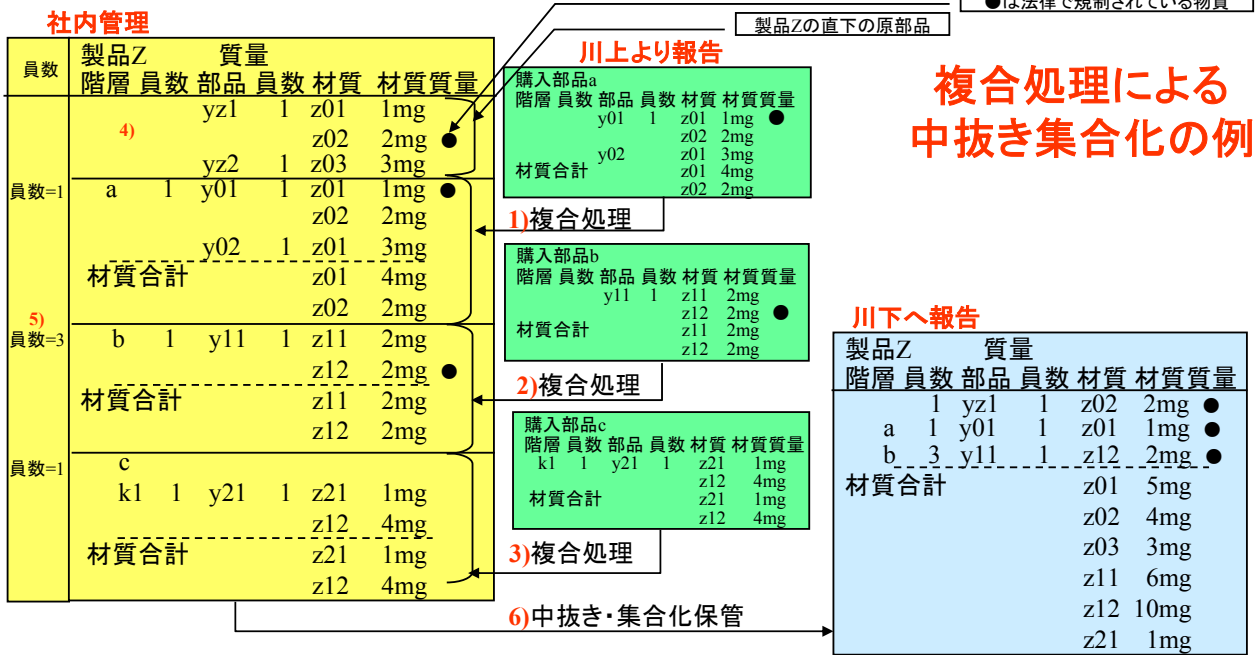
AIS作成支援ツールでは川上より受けた情報をなるべくそのまま複合化し川下へ流すことで解決している。



6. 事例（2）

川上のデータをすべて複合処理して川下へ流すとデータ量が多くなるが最終製品メーカーは法律で規制されている物質に関わる情報のみで良い。

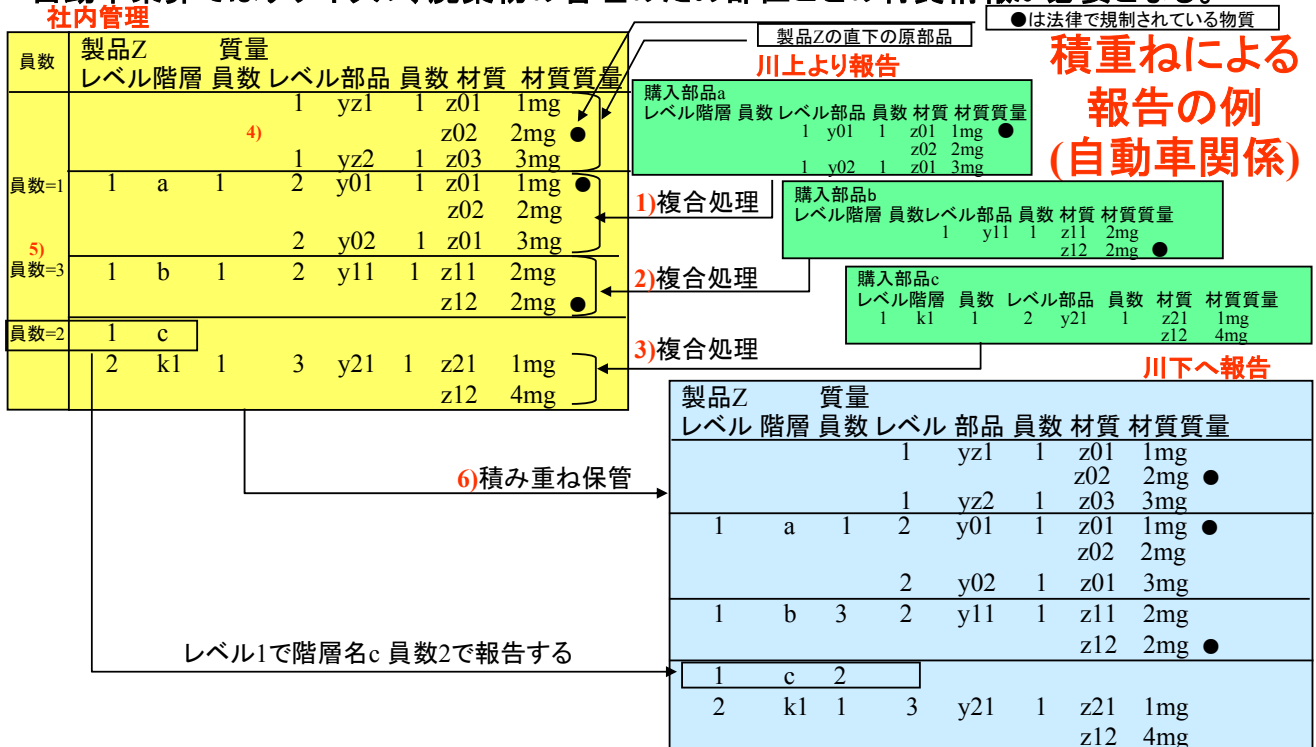
AIS作成支援ツールでは集合化して川下へ流すことで解決している。集合化とは法律で規制されている物質に関わる情報のみ作成する事。



6. 事例（3）

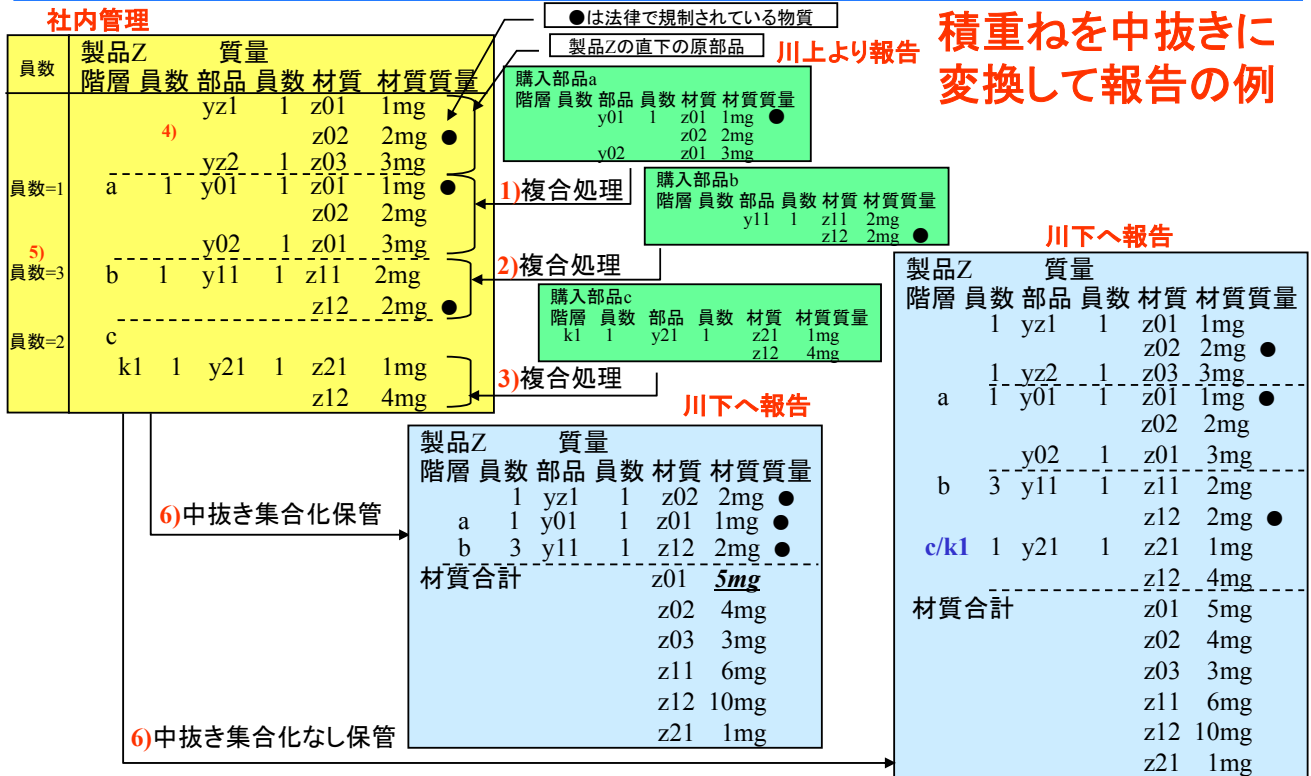
自動車業界へデータを流すことが求められている。

自動車業界ではリサイクル、廃棄物の管理のため部位ごとの材質情報が必要となる。



6. 事例（4）

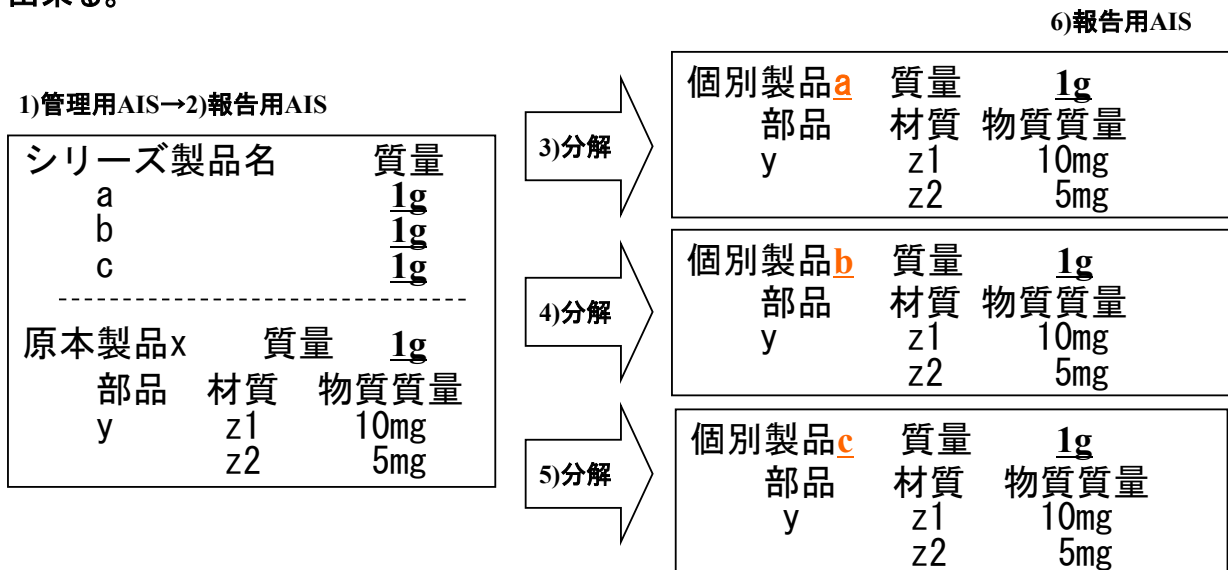
川上からなるべく詳細データで収集し最終段階で変換できると再調査が減少する



6. 事例（5-1）製品質量と部位の質量がすべて同じ場合

類似している製品は原本AISから自動で作成すると作業効率が向上する。

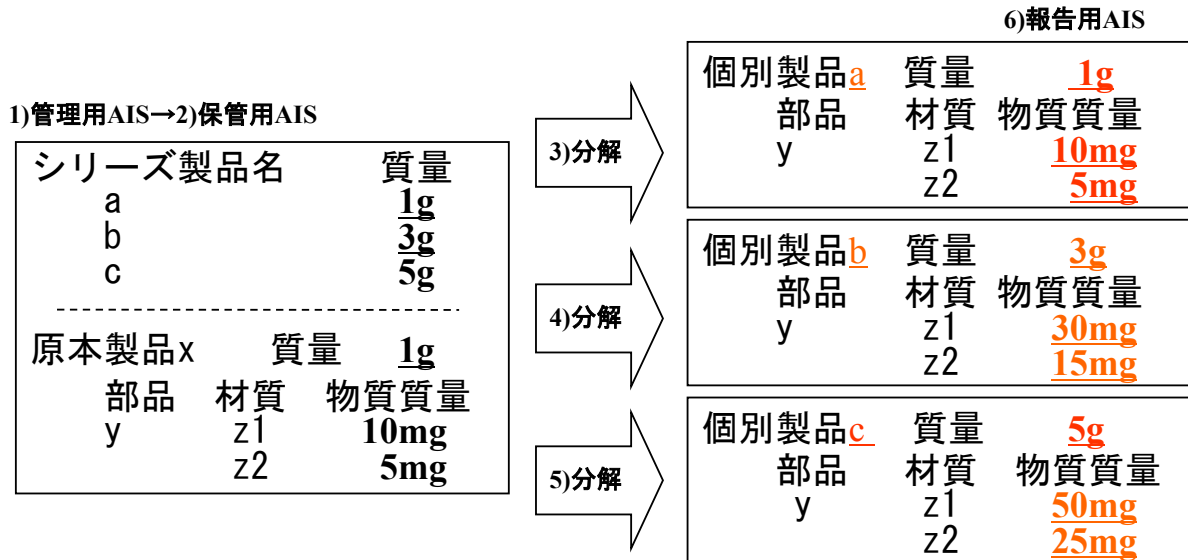
管理用AISのシリーズ製品名abcで原本製品xと同じ内容で個別製品abcを作成する事が出来る。



6. 事例 (5-2) 製品質量のみ異なり、その他は同じ場合

類似している製品は原本AISから自動で作成すると作業効率が向上する。(AISで検討中である為データ交換は個別に事前取り決めが必要)

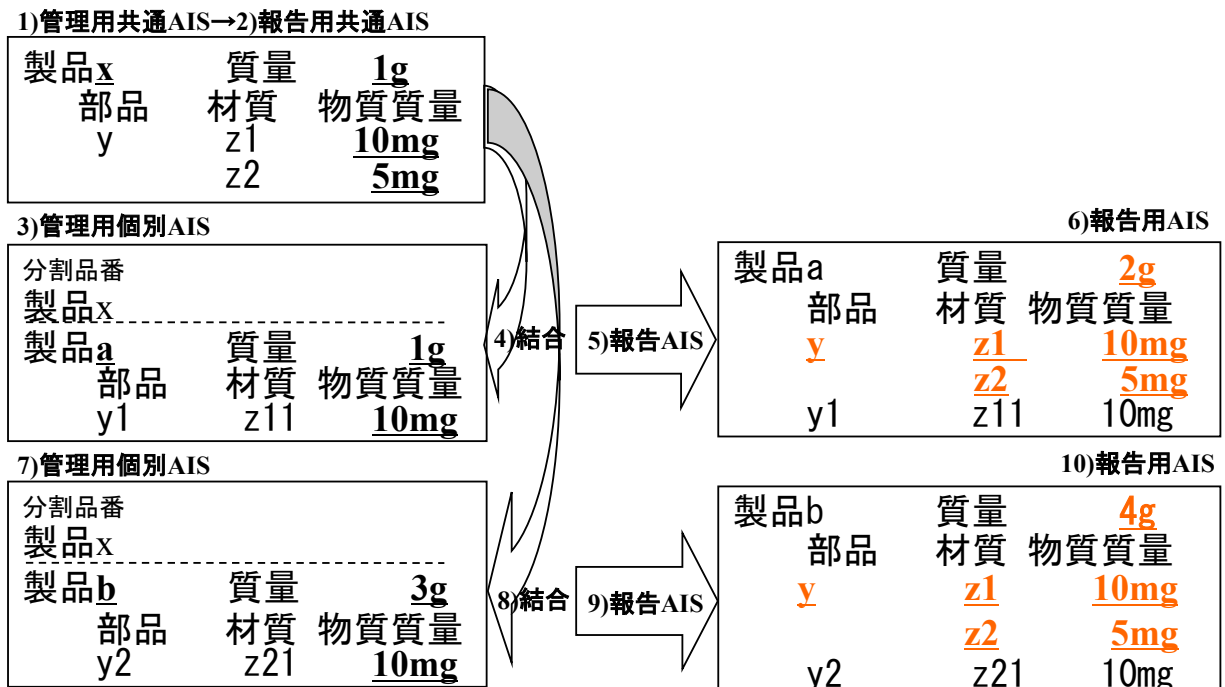
管理用AISの原本製品xとシリーズ製品abcの質量比で個別製品abcを作成する事が出来る。



6. 事例 (5-3) 一部分異なるが、その他は同じ場合

類似している製品は原本AISから自動で作成すると作業効率が向上する。(AISで検討中である為データ交換は個別に事前取り決めが必要)

管理用AISの共通製品xと製品abを結合して-報告用AISの製品abを作成する事が出来る。



6. 事例（6）

事例その6でも大量となりネット上の制限を越える場合の対応。(AISで検討中である為データ交換は個別に事前取り決めが必要)

複合処理した結果インターネット制限容量を超えたAIS

製品Z	質量	10				
階層	員数	部品	員数	材質	材質	質量
		yz1	1	z01		1mg
				z02		2mg ●
		yz2	1	z03		3mg
a	1	y01	1	z01		1mg ●
				z02		2mg
		y02	1	z01		3mg
材質合計				z01		4mg
				z02		2mg
b	1	y11	1	z11		2mg ●
				z12		2mg ●
材質合計				z11		2mg
				z12		2mg
c						
k1	1	y21		z21		1mg
				z12		4mg
材質合計				z21		1mg
				z12		4mg

分割元

分割先

分割品番Za	分割員数	1				
製品Z	質量	3				
階層	員数	部品	員数	材質	材質	質量
		yz1	1	z01		1mg
				z02		2mg ●
		yz2	1	z03		3mg
a	1	y01	1	z01		1mg ●
				z02		2mg
		y02	1	z01		3mg
材質合計				z01		4mg
				z02		2mg

製品Za	質量	7				
階層	員数	部品	員数	材質	材質	質量
b	1	y11	1	z11		2mg
				z12		2mg ●
材質合計				z11		2mg
				z12		2mg
c						
k1	1	y21		z21		1mg
				z12		4mg
材質合計				z21		1mg
				z12		4mg

依頼者は製品Zと製品Zaを別々に受け取ることになる為、製品Zに含まれる物質は自身のAISに含まれる物質と分割品番に指定されている製品Zaに含まれる物質の合計であると判断する。

目次

AIS作成支援ツール

1. REACHとは
2. AIS作成支援ツールの概要
3. 作成支援ツールの構成
4. AIS作成支援ツールの画面
5. AIS作成支援ツールに求められる事項
6. 事例
7. デモンストレーション
8. AIS作成支援ツールの機能一覧
9. AIS作成支援ツールのダウンロード

7. デモンストレーション

デモンストレーションは

5.AIS作成支援ツールに求められる事項(1-1)～(1-5)
に従って行います。参照してください。

— 目 次 —

AIS作成支援ツール

1. REACHとは
2. AIS作成支援ツールの概要
3. AIS作成支援ツールの構成
4. AIS作成支援ツールの画面
5. AIS作成支援ツールに求められる事項
6. 事例
7. デモンストレーション
8. AIS作成支援ツールの機能一覧
9. AIS作成支援ツールのダウンロード

8. AIS作成支援ツールの機能一覧（1）

網掛けした機能はAIS
仕様に追加した項目

機能	説明
原部品 ¹⁾ の入力	部品、材質、物質を個別に選択して作成することができる。
部品行の追加	部品名を追加する。行制御の挿入セルをダブルクリックでダブルクリックした上に挿入される。
材質行の追加	材質を追加する。行制御の追加セルをダブルクリックでダブルクリックした下に挿入される。
物質行の追加	物質を追加する。行制御の追加セルをダブルクリックでダブルクリックした下に挿入される。
保管	作成したAIS情報を一旦XMLファイルへ保存する。管理用保管と報告用保管がある。
管理用	原部品入力状態、複合化、の状態のまま保管するファイル。
報告用	中抜き、集合化、消失率の計算、材質変換、単位変換等の処理をして保管するファイル。
読み込み	部品メーカーから入手したXMLファイルまたは一旦保存したXMLファイルをAISツールに読み込む。
複合	複合処理 購入部品を製品BOMに合わせて寄せ合わせる。(一品づつ)
再複合処理	一旦複合化したAISの部品情報を一部変更・追記して複合化する。(一括処理有)
生産BOMと連携	生産BOMに合わせて一括複合化することが出来る。
新規	新規に生産BOMから入手した部品のみ複合処理する。
変更	変更された部品のみ複合処理する。
報告オプション	積重ね 階層に構成する(複合)アーティクルから原部品の各階層の名称を記載し、各階層の員数を記載する。 (自動車用途を想定し全階層情報を開示するもの)
中抜き	集合化なし 階層に構成する(複合)アーティクルと原部品の名称を記載し、各階層の員数を乗じた数を員数に記載する。及び材質毎に材質質量を合計して記載する。
集合化あり	『伝達すべき情報』の管理物質のみ記載する。
積重ね中抜き変換	積み重ねで複合処理したAISを中抜きに変換して報告用AISを作成する。
消失率の計算	購入部材の含有化学物質には揮発性物質等が含まれている。製品使用時は揮発してなくなるため、予め消失率を登録して含有量を計算する。
材質変換	製造工程で化学反応して別物質に変化する製品は変換情報を予め登録して変換する。
ファイルの結合	分割されているAISを一つのAISに統合する。
単位変換	購入品と製品の単位が長さから重さに変わる等単純換算できない場合、単位変換係数を事前登録することで、含有量を自動算出する。
中抜き集合化の集合化	中抜き集合化された部品と中抜きをみの部品を複合して、さらに中抜きAISすることが出来る。

1)原部品とは成形品として最初に作成される製品含有化学物質情報である。

8. AIS作成支援ツールの機能一覧（2）

機能	説明
シリーズ品一括作成	シリーズ品基本情報をシリーズ品番に分解してXMLファイルを作成する。シリーズ品基本情報と類似した製品群が対象となるが以下の条件のものを対応している。 1)製品質量と部位の質量がすべて同じ場合 2)製品質量のみ異なる場合 3)一部分異なるが、その他は同じ場合（報告オプションのファイルの結合で作成する）
製品分割管理	製品構成が複雑で大量の原部品情報を持っている製品はAISを分割作成し関連情報を記述できる。
ロック	回答者情報 回答者情報は変更できない。XMLファイル読み込み時に変更しない。 依頼者情報 依頼者情報は変更できない。XMLファイル読み込み時に変更しない。
集計	成形品あたりの特定化学物質濃度情報を集計する。
画面	折りたたみ 作業性を考慮し、組成成分情報、会社情報、成分分割情報の一部、又は全部を画面上非表示にする。 リスト選択 均質材料、材質、物質はリストより選択出来る。材質、物質付帯情報は自動設定する。 行制御 行のコピー、挿入(部品の追加)、追加(材質の追加)、移動、削除ができる。(個別と範囲指定が可能)
複数ファイル選択	複合処理でファイル選択画面で複数のファイルを同時に選択する事ができる。 Shift + Shiftを押しながら選択は範囲指定。 ctrl + ctrlを押しながら選択は個別指定。
自動処理	AISツールを起動すると指示ファイルにしたがって一連の処理をする。指示ファイルは下記機能を組み合わせて記述することが出来る。一連の処理後AISツールは終了します。 1)読み込み、2)保管、3)再複合、4)依頼品番設定、5)回答情報作成、6)ロック設定
多言語対応	言語選択:タイトルと選択項目は、日本語、英語、中国語で表示できる。
チェック	項目チェックは一括チェックして表示し、エラー項目へカーソル移動する。

9. AIS作成支援ツールのダウンロード

JEITA ECセンターのHPより

8月以降ダウンロード開始予定

<http://ec.jeita.or.jp/jp>